



スポークのエッジ感はあえて刷印し、ナチュラルなカーブで全体を構成しているのも特徴的。滑らかさが際立つ意匠で、ハイエンド感も満点。

先代でも採用していた全周ピアスボルトは塗装、ボルト本質をあえて増やし、スバルタンキさは強化されている。ディスクカラーは2色を設定。



センターパッケージを広く取ることで、シャープなオープンメッシュでありながらも、ディッシュ線の重厚感も表現。迫力大。



20インチは最大13J、19インチは最大15Jまで対応とサイズレンジも十分。ディスクはティールーム、スタンダードなど全4タイプ。

バイエス ティーエックス

VS TX

問：ワーク東日本コールセンター ☎048-688-7555
 中日本コールセンター ☎052-777-4512
 西日本コールセンター ☎06-6746-2859
<https://www.work-wheels.co.jp>

サイズ	HP CD	価格
18×7.5R-15.0	5/114.3	8万5800円～10万8000円
20×7.5R-13.0		9万5500円～11万2000円

・カラーマットシルバー、マッドカーボン



2004年に発売されたTXは当時、ハイエンドなスポーツVIP系から高い評価を集め、強く支持されていた人気モデル。その先代モデルの面影を残しつつ、現代的にリファインを加えた新生TX。実は、昨年のSEMAショーで先行発表され、感度の高いフリックには知られてはいたのだが、この5月、ついに国内でも正式に発売。新たなハイエンドスポーツドラッグレーサー向けのピースとして、早くも大きな話題となっているのだ。

ティッシュデザインのような風格

と量感ある大きなセンター部に、ツイストノックのような伸びやかさ、オープンメッシュという躍動感という3つの要素をミックスさせた、オリあふれるバイエスデザインがこの新生TX最大の魅力。ピアスボルト数をあえて多くし、3ピースホイールらしいスバルシキさを強調したライオンシユとなつているのも、必見のポイントだ。

カラーリングはマッドカーボンの他に、前作にはなかったマッドシルバーを採用するなど、より現代的な雰囲気重視。復刻版だが完全に新しい、VSの新たなハイテクマックとなり得る秀作である。

ハイエンドラグジーにハマる 重厚なるオープンメッシュ